



夏季一時金、昨年実績を下回る結果に【終報】

速報分会妥結額平均 483、102円 (-11、633円)

闘争分会妥結額平均 463、192円 (-5、359円)

夏季一時金が概ね終結した。港湾春闘長期化の影響で、夏季一時金の回答も例年より若干遅れたが、最終的に昨年を下回る額での終結となった。

7月23日現在、速報分会では、140速報分会中129分会(92%)に有額回答が示され、速報分会の回答額平均は483、433円、妥結した分会は126分会で妥結額平均は483、102円となった。昨年妥結額実績494、735円より11、633円下回る結果となった。

全闘争分会では、318分会中278分会(87%)に有額回答が示され、闘争分会の回答額平均は461、030円(1.65ヶ月)となり、昨年同時期を7、096円下回った。回答を受けた分会のうち274分会(99%)が妥結しており、妥結額平均は463、192円となった。昨年の妥結実績468、551円より5、359円下回る結果となった。

職種別でみると、港湾の回答額平均は486、744円(昨年同時期を6、355円下回った)、トラックの回答額平均は348、006円(昨年同時期を1、955円下回った)、一般の回答額平均は426、863円(昨年同時期を11、009円下回った)となった。

他団体の回答状況

連合の7月5日付け発表では加重平均で699、685円(前年実績マイナス26、458円)となっている。

国民春闘共闘の7月8日付け発表では加重平均で630、585円(前年同期比マイナス15、495円)となっている。

日本経団連の6月11日付け発表では加重平均で971、777円(前年実績マイナス25、138円)となっている。

港湾関係の回答状況

全倉運の7月5日付け発表では加重平均で696、692円(前年実績プラス14、057円)となっている。